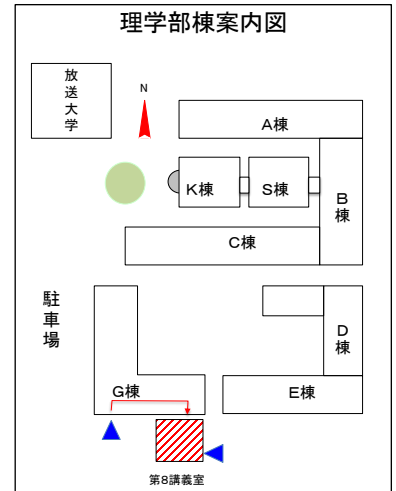


## 放射線生体影響研究の最前線：がん放射線治療との接点を探る

開催日：2024年3月3日(日) 9:30～16:15

場所：茨城大学理学部 第8講義室  
(茨城県水戸市文京 2-1-1)



### プログラム

9:00 開会挨拶 田内 広 (茨城大学)

### セッション1 放射線感受性に関わる基礎研究と放射線治療効果

9:35 田内 広 (茨城大) 低線量率放射線被ばくの遺伝子影響を解析する高感度検出系

9:55 鈴木 啓司 (長崎大) 放射線影響の決定要因となる組織内コンパートメントの放射線感受性差  
(休憩 10分)

10:45 奥村 光遥 (慶応大)  $\gamma$ H2AX フォーサイ形成に影響を与える高次クロマチン構造体の研究

11:05 染谷 正則 (札幌医大) T細胞受容体(TCR)レパトア解析による放射線治療効果の予測  
(11:45～13:00 昼休憩)

### セッション2 放射線感受性の修飾要因と発がん

13:00 鈴木 智也 (茨城大) サトウキビエタノール抽出成分およびヘスペレチンの放射線防護効果の検討

13:20 志村 勉 (国立医療科学学院) 放射線発がんのメカニズムの解析

14:00 竹内 春 (筑波大) フェニルボロン酸含有超分子を用いた新規ホウ素製剤 FPBA-PRX の効果検証  
(休憩 10分)

### セッション3 組織環境と放射線治療

14:30 大塚 健介 (電力中央研) 放射線による腸死初期過程の多角的解明に向けて

15:10 日賀野 頼巴 (茨城大) ヒト大腸がん細胞における H2AX を介した接着結合制御メカニズムの検討

15:30 平山 亮一 (QST・量医研) 重粒子線で低酸素影響を調べる理由は何か？

16:10 閉会挨拶 永井 秀雄 (茨城県立中央病院・名誉院長)